

令和6年度インターンシップ（夏期実習生）受入事務所一覧

※各事務所の詳細につきましては、お手数ですが関東地方整備局HPにてご確認ください。（<http://www.ktr.mlit.go.jp/soshiki/index.html>）

※受入情報については、変更する事があります。

事務所名	郵便番号	住所	電話	受入可能期間					実施期間	業務内容等	勤務地（課等）
				7.29～8.2	8.5～8.9	8.19～23	8.26～8.30	9.2～9.6			
関東地方整備局 企画部	〒330-9724	埼玉県さいたま市中央区新都心2-1	048-601-3151	○	○	○	○	○	5日間	<p>「関東地方整備局の全体を支えるオールマイティな部署」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東地方整備局企画部は、関東地方の地域づくり、関係機関との事業の調整、建設業界全体の動向を踏まえた技術基準や入札契約制度の運用、建設機械の整備や電気通信施設の整備・保守に関する業務、関東地方整備局の魅力を広く伝えたくさんの仲間を増やす採用活動、働いている職員の人材育成研修などを行っています。 ・また、特に企画部は、働き方改革を推進しており、タブレットを用いたペーパーレスの会議やプレゼンテーションに特化した会議室などDXを活用した先進的な部署です。 ・今回のインターンシップでは、今学んでいる分野に限らず、短い期間でバラエティーに富んだ業務を経験することができるカリキュラムを設定しています。ぜひ、働きやすいオフィスで企画部のインターンに参加してみませんか！ 	関東地方整備局 企画部
関東地方整備局 営繕部	〒330-9724	埼玉県さいたま市中央区新都心2-1	048-601-3151	○			○	○	5日間	<p>「政府活動の舞台、国民の共有財産を形づくる過程を体験しませんか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東地方整備局営繕部は、政府（国の機関）の建物を建築するための事業プロジェクトの企画立案、プロジェクト中の設計・施工のマネジメント、建物完成後の保全指導などを担当しています。 ・現在の主な事業は、こども園と国の機関を同じ建物として整備する合同庁舎の新築、既存建物を使いながら免震化する耐震改修、歴史的建築物の復元や一般庁舎等の新築・改修工事等を実施しています。 ・今回のインターンシップでは、国土交通省や関東地方整備局の概要説明、プロジェクトの企画立案演習、BIMを利用したプロジェクト管理、受注者との打ち合わせ体験、施設・現場見学や霞が関地区の施設整備や様々な施策決定を行っている国土交通本省官庁営繕部の1日体験などを行っています。ぜひ、興味を持って参加してください。 ・「国家プロジェクト」が進んでいく様子をぜひ体感してください。 	関東地方整備局 営繕部
利根川上流河川事務所	〒349-1198	埼玉県久喜市栗橋北2-19-1	0480-52-3952			○	○		5日間	<p>「利根川の洪水氾濫を未然に防ぐためには！ 流域治水について学ぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利根川上流河川事務所は、日本一の流域面積を有する一級河川利根川の整備や管理を行っています。 ・当事務所では、令和3年に策定された「利根川・江戸川流域治水プロジェクト（利根川上流区間）」を推進しているところです。 ・本プロジェクトは、国・県・市町村等が協働し、施設整備等のハード対策や避難体制の確保等のソフト対策を進めるとともに、河川空間の自然環境の保全・創出についても進めているところです。 ・また、利根川上流河川事務所では、今年度より治水対策の一環として、洪水調節施設（調節池）の増強についても着手していることから、流域治水プロジェクトの各種対策や治水対策についても学習することができます。 	利根川上流河川事務所 計画課 流域治水課
利根川下流河川事務所	〒287-8510	千葉県香取市佐原イ4149	0478-52-6361	○	○	○	○	○	5日間	<p>「いろいろな河川構造物の維持管理や建設現場に触れることが出来ます」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利根川下流河川事務所は、一級河川利根川（取手～銚子）、北千葉導水路等の整備や管理を行っています。 ・流域治水プロジェクトとして利根川下流部において、堤防のない区間の堤防整備工事、樋管の新設工事や河川内の浚渫工事を進めており、DXを活用した土木技術の施工に触れることができます。 ・河川パトロールカー（や河川巡視船）に乗車（乗船）して、河川の維持管理業務に触れることもできます。 ・「利水」「環境」「治水」の役割を持つ北千葉導水路や堰、水門、樋管及び閘門など、いろいろな河川構造物の維持管理業務を体感できます。 	利根川下流河川事務所
霞ヶ浦河川事務所	〒311-2424	茨城県潮来市潮来3510	0299-63-2411			○	○	○	5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦河川事務所は、霞ヶ浦（常陸利根川、横利根川、霞ヶ浦（西浦）、鵜川及び北浦の5河川の総称）の管理を行っています。 ・事業内容としては、霞ヶ浦沿岸地域の安全、安心に向けて、堤防未整備区間の堤防整備を行ったり、堤防除草や河川管理施設の点検整備を行い、霞ヶ浦の適正な管理を行っております。 ・また、清らかな豊富な湖沼環境を目指して、湖岸植生を保全・再生する自然再生地のモニタリング調査を行ったり、湖岸堤防に側帯整備を行い、リバースポットとして地域活性化を図っております。 ・当事務所においては、自然再生、水質保全、治水対策、維持管理などを学習することができます。 	
江戸川河川事務所	〒278-0005	千葉県野田市宮崎134	04-7125-7311	○	○	○	○	○	5日間	<p>「流域治水の加速化、深化を学び体感する」</p> <p>◎江戸川河川事務所は、一級河川の江戸川および中川・綾瀬川とそれら支川等を含む河川の112.1kmを管理しています。主な取組として「首都圏氾濫区域堤防強化対策」「超過洪水対策」「江戸川特定構造物改築」「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」等の事業を関係機関と協同し推進しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の調査、計画から設計、施工、維持管理を、現場の最前線で働く職員から学ぶことができます。 ・また河川巡視や排水施設点検および補修や更新そして住民対応など、多様な条件の中で行っている土木行政現場に触れることが出来ます。 ・若手職員との交流や座談会等を予定しています。 ・インフラ分野のDXに取り組んでおり、3次元の設計成果（BIM/CIM）やUAV測量などを事業に活用しています。 ・現場のスケールの大きさ、インフラ分野における最先端のデジタル技術、そして流域治水の加速化、深化をぜひ体感してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画課：「江戸川特定構造物改築」「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」 ・沿川整備課：「首都圏氾濫区域堤防強化対策」「超過洪水対策」
渡良瀬川河川事務所	〒326-0822	栃木県足利市田中町661-3	0284-73-5551	○	○				5日間	<p>「河川事業を最上流から下流側まで学べる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡良瀬川河川事務所は、渡良瀬川の中下流域で河川の整備・管理を行うとともに、上流域で砂防事業を行っていますので、河川と砂防の二つの公共事業を体験することができます。 ・通常の河川工事は出水期間中は休工となりますが、砂防工事は通年施工となっていますので、河川事務所でありながら夏期でも工事現場を確認することができます。 	渡良瀬川河川事務所
下館河川事務所	〒308-0841	茨城県筑西市二木成1753	0296-25-2161	○	○				5日間	<p>①「マイ・タイムライン発祥の地で減災対策の取組みが学べる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年9月「関東・東北豪雨」を契機に始まった、マイ・タイムライン（一人ひとりの防災行動計画）を中心に、減災対策の取組みについて幅広く学ぶことができます。 ・マイ・タイムラインを教えるスキルの習得と併せて、堤防決壊後の災害復旧工事や治水対策についても理解向上が図れます。 <p>②「鬼怒川・小貝川の河川環境を学べる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川に生息する生物と環境との関わりや水質など、現地調査を通して河川の環境について幅広く学ぶことができます。 ・河川空間の利用促進に向け、沿川自治体と整備を進めている「かわまちづくり」についても紹介します。 	下館河川事務所 流域治水課
荒川上流河川事務所	〒350-1124	埼玉県川越市新宿町3-12	049-246-6371	○	○	○	○		5日間	<p>「激甚化する災害に対して、地域の安全・安心を守るために、今、何が出来るのかを一緒に考えてみませんか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒川上流河川事務所は、一級河川荒川と入間川などの支川の整備や管理を行っています。 ・特に、令和元年東日本台風により被災した入間川流域において、再度災害を防止するための緊急治水対策プロジェクトに取り組んでおり、埼玉県や流域自治体などの関係機関と協力・連携を図りながら事業を推進しています。 ・気候変動の影響を踏まえ、激甚化・頻発化する水災害に対応するための、「流域治水」として、施設管理者だけの対策ではなく、流域のあらゆる方にあらゆる場所で治水対策を行っていただくことにも力を入れて取り組んでいます。 ・地域の安全・安心を守るために行う、河川工事などの現場での取組や大雨の時に河川事務所ではどのような対応を行っているのかなど、防災・減災の取組を学べ、国交省入省への動機付けが出来ます。 	荒川上流河川事務所 流域治水課

事務所名	郵便番号	住所	電話	受入可能期間					実施期間	業務内容等	勤務地（課等）
				7.29～8.2	8.5～8.9	8.19～23	8.26～8.30	9.2～9.6			
荒川下流河川事務所	〒115-0042	東京都北区志茂5-41-1	03-3902-2311	○	○	○	○	○	5日間又は10日間	「インフラ分野のDXを体験できる！」 調査・計画、設計から実際の工事に至るすべてのプロセスにおいて、地元のニーズや地域の課題をふまえながら河川管理全体の業務を体験していただけます。 ・荒川を知る！ ・荒川を調べる！ ・災害リスクを知る！ ・河川利用ルールを知る！ ・ハード対策（工事）を知る！ ・首都東京の安全で持続可能なかわまちひとつくりを考える！ ・河川管理DXを体験する！	荒川河川事務所 各担当課
京浜河川事務所	〒230-0051	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央2-18-1	045-503-4000	○	○	○	○	○	5日間	京浜河川事務所は、一般河川の多摩川・鶴見川・相模川の整備や管理を行っています。 当事務所では、緊急治水プロジェクト及び流域治水プロジェクトを推進しており、河道掘削、堤防工事などを実施し、治水安全度の向上を図っています。インターシップでは、多摩川・鶴見川の計画や流域治水、維持管理に関する業務の体験が可能です。	京浜河川事務所 流域治水課・流域調整課
日光砂防事務所	〒321-1414	栃木県日光市萩垣面2390	0288-54-1191	○	○	○	○	○	5日間	「土砂災害から世界遺産を守るために続けられている砂防事業を学ぶ」 ・日光砂防事務所では、土砂災害から日光を守るために砂防事業を行っています。 ・砂防事業の変遷と対策工法等について学んでいただき、管内各流域における崩壊地対策・土石流対策等の工事現場見学を行っていただきます。 ・また、ドローンの活用方法を学んでいただくため、ドローン体験を行っていただきます。	日光砂防事務所
富士川砂防事務所	〒400-0027	山梨県甲府市富士見2-12-16	055-252-7108				○		5日間	「日本有数の土砂流出の激しい地域での土砂災害対策事業を学ぶ」 ・富士川砂防事務所では、主に山梨県西部の南アルプス地域において、土砂災害を防ぐための砂防堰堤や渓流保全工など砂防事業を実施しています。 ・事業では砂防施設を設置するための用地調査、施設設計、そして工事監督などの事務所の業務に関わっていただきます。 ・糸魚川・静岡構造線による日本でも有数の崩壊地域かつ土砂流出の激しい地域におけるダイナミックな砂防事業についてぜひ体験してみてください。	
利根川ダム統合管理事務所	〒371-0846	群馬県前橋市元総社町593-1	027-251-2021			○			5日間	「ダムについて色々学ぼう ～統合管理って何だ？～」 ・利根川ダム統合管理事務所では、「藤原ダム」、「相模ダム」、「園原ダム」、「ハツ場ダム」の4つのダムを管理しており、毎日の点検やダム放流に関わる操作がどのように行われているかを学ぶことが出来ます。 ・また、下流河川に水を効率的に供給するために、水資源機構所管の4つのダム（矢木沢、奈良俣、下久保、草木）と渡良瀬遊水池を合わせた、9つのダムによる統合的な水運用を行っており、普段当たり前のように使っている水がどのように確保されているかを学ぶことが出来ます。 ・その他にも、相模ダム堰堤改良工事、ダム周辺の地域振興、環境調査、流量観測など幅広い内容を学習することが出来ます。なお、相模ダム堰堤改良工事は、ダムに穴を開けて新しい放流設備を設置するレア工事であり、今しか体験することが出来ません。	利根川ダム統合管理事務所 技術系各課・ダム管理支所
鬼怒川ダム統合管理事務所	〒321-0905	栃木県宇都宮市平出工業団地14-3	028-661-1341	○	○	○	○	○	5日間	「 鬼怒川上流のダムの聖地で新旧4つのダムの仕事について学べます。 」 栃木県日光市内には、利根川流域における洪水発生時の被害軽減と、平常時に必要な河川の流量確保を目的とした、五十里ダム、川俣ダム、川治ダム、湯西川ダムが設置されています。 この4つのダムは、宇都宮市内にある統合管理事務所と、ダムに隣接して設けた管理支所が連携することによって、施設の操作、管理を行っています。 実習では、ダム管理の基本となる河川流量等の観測、情報収集により得られる各種データの分析、ダム操作方法の伝達等、4つのダムが実際に操作されるまでの過程を学習します。 また、ダムが正常に機能するために欠かすことのできない施設の日常点検と、近年脚光を浴びているインフラツーリズムの観光資源としての役割も持つダムの広報活動が体験できます。	鬼怒川ダム統合管理事務所、川俣・五十里・川治・湯西川ダム管理支所
荒川調節池工事事務所	〒338-0837	埼玉県さいたま市桜区田島8-17-1	048-767-6041	○					5日間又は10日間	「首都圏を守る大規模治水事業を体験できる」 ・荒川調節池工事事務所は、日本の人口の1割の人が住む荒川流域を水害から守るため、荒川第2・第3調節池の整備を進めています。 ・現在は、荒川調節池関係の計画検討・調査・設計業務及び、建設DXも活用した堤防・排水門整備工事が進んでいます。併せて、荒川調節池に関する広報なども実施しています。	荒川調節池工事事務所 事業計画課
東京国道事務所	〒102-8340	東京都千代田区九段南1-2-1 九段第3合同庁舎1	03-3512-9090	○	○	○	○	○	5日間	「 東京都23区内の道路の維持管理や集約型公共交通ターミナル（バスタプロジェクト）の整備など幅広く学べます 」 ・東京国道事務所では、東京都23区内の一般国道1号、4号、6号、14号、15号、17号、20号、246号、254号、357号の整備や維持管理などを行っています。 ・当事務所の特徴として、鉄道やバス、タクシーなど多様な交通モードがつながる集約型公共交通ターミナルを、官民連携で「まちづくり」と一体となって整備する「バスタプロジェクト」を推進している事が挙げられます。 ・若手職員との意見交換会も予定しています。	東京国道事務所
相武国道事務所	〒192-0045	東京都八王子市大和田町4-3-13	042-643-2001	○	○	○			5日間	「多摩地域の道づくりを調査計画・建設・維持管理まで幅広く学べる」 ・相武国道事務所では、東京都内の国道16号、20号、神奈川県西部の国道16号、20号の整備や維持管理などを行っています。 ・バイパス整備の調査、計画から設計、施工、維持管理を、現場の最前線で働く職員から学ぶことができます。 ・また、維持管理の分野では、道路構造物のメンテナンス（点検・工事）を学ぶことができます。 ・インターン生の体験希望を踏まえたカリキュラムとし、年齢の近い若手職員の仕事内容を学ぶことができます	相武国道事務所 計画課
首都国道事務所	〒271-0072	千葉県松戸市竹ヶ花86	047-362-4111				○		5日間	首都国道事務所では、「首都圏」の暮らしや経済活動に影響を与える渋滞を緩和し、安心・安全な暮らしを確保するため、国道298号東京外かく環状道路（千葉県区間）や国道464号（北千葉道路／市川・松戸）などの幹線道路を整備しており、道路整備に関わる調査・計画から設計、施工、維持管理など、道路事業の様々な工程を現場で働く職員から学ぶ事ができます。	
川崎国道事務所	〒213-8577	神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷2-3-3	044-888-6411	○	○		○	○	5日間	・川崎国道事務所では、東京都・神奈川県内の一般国道15号、16号、246号、357号等の調査や整備を行っています。 ・厚木桑野道路や多摩川トンネル事業をはじめとする道路事業の調査、計画、設計や施工管理などを学習することが出来ます。 ・特に多摩川トンネル事業では、大規模な立坑の施工を行っており、厳しい現場条件の中で行っている土木の最先端技術に触れることも出来ます。 ・また、結節点（バスタ）の検討にも取り組んでおり、関係者との協議や所内での検討などを体験することが出来ます。	川崎国道事務所 計画課
横浜国道事務所	〒221-0855	神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2	045-311-2981	○	○	○	○		5日間	・横浜国道事務所では、神奈川県内における一般国道1号、15号、16号、246号、357号及び409号の整備・維持管理を担当するとともに、首都圏の交通円滑化、効率的な人流・物流の確保、災害時の代替路等を確保するため神奈川県横浜市内等で自動車専用道路の整備を進めています。 ・特に首都圏中央連絡自動車道（圏央道）では、地図に残る事業として、大規模なシールドトンネルや数々の橋梁をゼネコンの方々と力を合わせて整備を進めていますので、発注者が行う監督業務を通じて、大規模な施工現場を直に触れ、様々な施工方法を見ることが出来ます。 ・また、全国の一般道で一番交通量の多い国道16号保土ヶ谷バイパス等における維持管理では、日常管理（パトロール等）や構造物点検などをデジタル技術（DX）も活用しながら効率的に行っていることに触れ、国民生活に欠かせない重要な道路を守っていることを体験することが出来ます。	横浜国道事務所工務課、計画課、調査課、道路管理第二課、道路工事調整課 予定
大宮国道事務所	〒331-9649	埼玉県さいたま市北区吉野町1-435	048-669-1200				○		5日間	「埼玉の道づくりを調査、計画から維持管理まで幅広く学べます」 ・大宮国道事務所では、埼玉県内の一般国道4号、16号、17号の整備や維持管理などを行っています。 ・新大宮上尾道路事業をはじめとする道路事業の調査、計画、設計や施工管理などを学習することが出来ます。 ・維持管理分野においては、日常管理（パトロール等）や構造物点検（歩道橋・橋梁等）などを学習することが出来ます。 ・歩道橋の補修を施工中であり、厳しい現場条件の中で行っている土木現場に触れることも出来ます。 ・インフラ分野のDXにも取り組んでおり、日々のパトロールにおいてデジタル技術を取り入れ、社会資本や公共サービスの変革に取り組んでいます。	大宮国道事務所

事務所名	郵便番号	住所	電話	受入可能期間						実施期間	業務内容等	勤務地(課等)
				7.29~8.2	8.5~8.9	8.19~23	8.26~8.30	9.2~9.6				
北首都国道事務所	〒340-0044	埼玉県草加市花栗3-24-15	048-942-4041			○	○			5日間	<p>「埼玉の道づくりを調査、計画から維持管理まで幅広く学べる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北首都国道事務所は、埼玉県東部地域に位置する国道4号東埼玉道路の整備や、国道468号首都圏中央連絡自動車道(圏央道)4車線化(埼玉県・茨城県内の一部区間)の整備、国道298号東京外かく環状道路(外環道)(埼玉県内)の維持管理などを行っています。 ・東埼玉道路では調査設計のほか用地取得、工事を推進しているところであり、圏央道4車線化では橋梁工事や改良工事などを進めています。 ・外環道では、道路の維持管理のほか、事故や渋滞対策として交差点改良、橋梁の老朽化対策や耐震補強工事などを実施しています。 ・道路事業における調査設計から工事、管理まで、幅広く学習することができます。 	北首都国道事務所 工務課、管理課、計画課
千葉国道事務所	〒263-0016	千葉県千葉市稲毛区天台5-27-1	043-287-0311	○	○	○	○	○		5日間又は10日間	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉国道事務所では、千葉県内の一般国道6号、16号、51号、127号、357号等の整備や維持管理などを行っています。 ・圏央道事業では、令和8年度の開通を目標に様々な工法を用いた施工を行っており、厳しい現場条件の中で行っている土木の最先端技術に触れることも出来ます。 ・国道の地下立体化で創出された地上部の道路空間を活用し、社会実験イベントを行うなどまちづくりの活性化にも取り組んでいます。 	千葉国道事務所
常総国道事務所	〒300-0033	茨城県土浦市川口1-1-26 アーバンスクエア土浦	029-826-2040	○			○	○		5日間	<p>「道路建設の調査設計から施工まで学べる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常総国道事務所は、東関東自動車道水戸線(東関東水戸線)、国道6号牛久土浦バイパス(BP)および首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の事業を行っています。 ・東関東水戸線は、重要港湾群(鹿島港、茨城港)や国際拠点である成田国際空港、茨城空港へのアクセス向上や常磐自動車道、国道51号の災害時の代替路線の確保を図る事業です。国道6号牛久土浦BPは、牛久市、土浦市周辺市街地の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び圏央道へのアクセス向上を目的としたバイパス事業です。圏央道は、茨城県内が暫定2車線で全線開通し、産業や観光へのストック効果が現れ、更なる生産性向上等のストック効果の発現に資するべく、4車線化事業を推進しています。 ・この3つの事業について、実際に工事現場に行き、施工内容を学ぶことができます。また、工事着手前の用地取得や調査・設計なども行っており、道路事業の進め方も学ぶことができます。 	常総国道事務所 計画課
宇都宮国道事務所	〒321-0931	栃木県宇都宮市平松町504	028-638-2181	○				○		5日間	<p>「栃木のみちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮国道事務所では、国道4号、新4号国道、国道50号の整備や維持管理などを行っています。 ・道路改築事業や橋梁保全などに関わる工事現場や鋼橋製作工場など見学することができます。 ・カメラ付きドローンの映像配信を、自身で操縦して体験することができます。 	宇都宮国道事務所 計画課
長野国道事務所	〒380-0902	長野県長野市鶴賀字中堰145	026-264-7001	○	○	○	○	○		5日間	<p>「長野県内の道路事業・公園事業を調査、計画から維持管理まで幅広く学べる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野国道事務所では、長野県内の中部横断自動車道をはじめ、国道18・19・20号及び権限代行により158号の整備や維持管理などを行っています。 ・また公園課においては、国営アルプスあづみの公園の整備や維持管理を行っています。 ・中部横断自動車道や諏訪バイパス事業における道路の調査・計画から、他の事業における設計・施工管理、また維持管理まで、道路事業について広く現場の最前線で働く職員から学ぶことができます。 ・長野19号防災における山清路2号トンネルでは、NATM工法による掘削を行っており、普段立ち寄ることのできないトンネル掘削現場に触れることができます。 ・公園事業については、公園の魅力アップへの取り組み等を学ぶことができます。 ・若手職員との座談会も予定しています！ 	長野国道事務所 計画課
東京外かく環状国道事務所	〒158-8580	東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル7階	03-3707-3000				○	○		5日間	<p>「大深度を活用したシールドトンネルを体感できる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京外かく環状国道事務所では、「東京外かく環状道路(関越道~東名高速)」の約1.6kmの整備を担当しております。 ・大深度地下方式のトンネル構造で、環境影響を抑え、時間短縮や生活道路の安全性向上、災害時の迂回機能などの整備効果が見込まれています。 ・滅多に見る事の出来ない、スケールの大きな工事現場や環境保全対策などを通じて、公共事業の進め方や行政の取り組みなどを学んでいただきます。 	東京外かく環状国道事務所 計画課、調査第一課、調査第二課
常陸河川国道事務所	〒310-0851	茨城県水戸市千波町1962-2	029-240-4061	○	○	○	○			5日間または10日間	<ul style="list-style-type: none"> ・常陸河川国道事務所は、一級河川那珂川、久慈川の整備や管理を行っています。 ・現在は、令和元年東日本台風により被災した那珂川の緊急治水対策プロジェクトを推進するために、那珂川の沿川自治体などの関係機関と協力・連携を図りながら取り組んでおり、遊水地整備や霞堤整備などのハード対策の最前線に触れる事ができます。 ・また、緊急治水対策プロジェクトでは、ソフト対策にも力を入れており、災害発生時の他機関連携、インフラ分野におけるDXの推進の一環としても位置づけられている「堤防の越水・決壊を感知するセンサー」などを活用し、河川の氾濫発生情報を迅速に発表する様子等を学ぶことができます。 	常陸河川国道事務所 流域治水課
高崎河川国道事務所	〒370-0841	群馬県高崎市栄町6-41	027-345-6000				○			5日間	<p>「群馬の河川事業と道路事業を幅広く学べる。」</p> <p>河川事業では烏川、神流川、鍋川、碓氷川の整備または管理について学べます。</p> <p>道路事業では国道17号、18号、50号の整備または管理について学べます。</p>	高崎河川国道事務所
甲府河川国道事務所	〒400-8578	山梨県甲府市緑が丘1-10-1	055-252-5491	○	○	○	○	○		5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・甲府河川事務所は、河川、道路の事業を行っている事務所です。 ・河川事業では一級河川富士川、釜無川、笛吹川の調査及び計画、河川環境調査、施設(排水機場・樋管・堤防)の管理等を行っています。 ・道路事業では山梨県内の中部横断自動車道、国道20号、52号、138号、139号の整備や管理を行っています。 ・インフラ分野のDXにも取り組んでおり、各種事業の設計、施工、現場管理等においてデジタル技術を取り入れ、社会資本や公共サービスの改革に取り組んでいます。 	甲府河川国道事務所(担当課は未定)
国営常陸海浜公園事務所	〒312-0012	茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4	029-265-9411	○	○	○				5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・国営常陸海浜公園事務所では、ひたち海浜公園内の整備や管理運営などを行っています。 ・公園の管理運営は当事務所のほか、管理委託している公園財団やPFI事業者等と分担・連携しながら進めています。 ・公園を安心安全に利用していただけるよう、利用者目線に立ち、関係者との協議・調整や造園工事、イベントの準備の施工現場などを体験することが出来ます。 ・公園利用者の満足度向上や、より効果的な広報戦略を打ち出すための様々な取り組みを行っています。 	
国営昭和記念公園事務所	〒190-8558	東京都立川市緑町3173	042-524-1516		○	○	○			5日間	<ul style="list-style-type: none"> ・国営昭和記念公園事務所は、「国営昭和記念公園」、「国営武蔵丘陵森林公園」、「国営東京臨海広域防災公園」、「明治記念大磯邸園」4つの公園の整備・管理を行っています ・現在、国営昭和記念公園では、施設の老朽化や、周辺で行われている民間事業者等によるまちづくりなど、本公園を取り巻く状況の変化により昭島周辺エリアを対象に、効果的・効率的な整備・管理運営による魅力向上を目的とし、官民連携による再整備事業を推進しています。 ・全国初の国営公園として開園した国営武蔵丘陵森林公園では、効率的な維持管理のあり方について検討を行っています。 ・明治記念大磯邸園では、伊藤博文邸跡など明治期の立憲政治の確立等関する歴史的遺産の保存、活用を図るため整備を進めています。 ・国営東京臨海広域防災公園では、首都圏で大規模な地震災害等は発生したとき、国の緊急災害現地対策本部が設置される場所となりますが、平時においては防災体験学習施設「そなエリア東京」を管理運営し、現在、展示施設の設計、更新作業を進めています。 ・当事務所では、公園における日常管理の他、このようなプロジェクトに触れることができます。 	国営昭和記念公園事務所
宇都宮営繕事務所	〒320-0043	栃木県宇都宮市桜5-1-13 宇都宮地方合同庁舎	028-634-4271				○	○		3日間	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮営繕事務所は、栃木県及び茨城県(つくば市を除く。)において、官庁施設の整備(建設に関する企画、工事等)と保全指導(維持管理に関する助言、情報提供等)を行っています。 ・官庁施設というと鉄筋コンクリート造のイメージが強いかもしれませんが、当事務所では今年度、木造建築の工事も予定しています。 ・インターンシップでは、主に監督職員の業務を体験してもらうこととなりますが、発注者側の立場から工事に関わることになるため、受注者(設計者、施工者等)側の立場とは違った体験ができます。 ・当事務所には技術系職員として建築職、電気職、機械職が在席しているため、夏期実習生の専門(建築、電気、機械)に応じてテーマを設定します。 	宇都宮営繕事務所技術課

事務所名	郵便番号	住所	電話	受入可能期間					実施期間	業務内容等	勤務地（課等）
				7.29～8.2	8.5～8.9	8.19～23	8.26～8.30	9.2～9.6			
鹿島港湾空港事務所	〒314-0021	茨城県鹿嶋市粟生2254	0299-84-7712			○	○	○	5日間	<p>「THE 港湾工事」を学べる・体感できる」</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿島港湾・空港整備事務所では、鹿島港と茨城港常陸那珂港区の港での船舶の活動を保つために防波堤の整備工事を実施しています。この防波堤を形作るためのケーソン製作、海のと真ん中で行うケーソン設置や消波ブロックの設置などは、港湾空港部の事務所の中でも「特に“THE港湾工事”」と言える仕事です。 また、鹿島港・茨城港は、全国でも最も厳しい海象条件での港湾工事を実施しています。 めったに体験できない、厳しい海象条件下での港湾整備の進め方や課題への対応について体感してみませんか。 	鹿島港湾・空港整備事務所 第三建設管理監室
千葉港湾事務所	〒260-0024	千葉県千葉市中央区中央港1-11-2	043-243-9172				○	○	5日間	<p>「港湾整備と海岸整備 2つの事業を体験できる唯一の事務所」</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉港湾事務所では、市川市から袖ヶ浦市までの広大な港湾区域を有している「千葉港」の中で港湾整備と海岸整備を行っています。千葉港湾区域は日本一の広さ！ 千葉港は完成自動車の輸入拠点の一方で、現在行っている港湾事業は社会問題になっているトラックドライバー不足の解決策の1つでもあるモーダルシフト（海上輸送への転換）への進展に寄与する岸壁の改良を行っています。 また、海岸事業は令和4年度から船橋地区において、高潮や大規模地震への対策としてすすめています。 港湾・海岸事業の設計・施工について学習することができます。 	千葉港湾事務所
東京港湾事務所	〒136-0082	東京都江東区新木場1-6-25	03-5534-1362				○		5日間	<p>「東京の港づくりを学ぶ」</p> <p>○東京港湾事務所では、東京港の整備を行っています。</p> <p>○東京港は、日本初のコンテナターミナルが1967年誕生以来、コンテナ化がすすみ、1998年以降外貨コンテナ取扱量が国内1位を誇る、我が国を代表する国際コンテナ港湾として、北米、欧州などの数多くの港と定期航路で結ばれており、首都圏の経済や日常生活を支える港として重要な役割を担っています。</p> <p>○その一方、コンテナ貨物増加への対応、コンテナ船の大型化や臨海部の渋滞緩和などの課題解決のため、大水深岸壁や海底トンネルの整備を実施しています。</p> <p>○完成時には、なかなかお目にかかれない港湾構造物に関して、調査・設計・現場の最前線で働く職員から学ぶことができ、また、一般にはあまり見れない裏側で奮闘する土木現場に触れることも出来ます。</p> <p>○また、若手職員との座談会も予定しているので、先輩技術者の技術力や考え方に触れていただきたい！</p>	東京港湾事務所
東京空港整備事務所	〒144-0041	東京都大田区羽田空港3-3-1	03-5757-2074				○	○	5日間	<ul style="list-style-type: none"> 東京空港整備事務所は、東京国際空港（羽田空港）における滑走路・誘導路・エプロン等における耐震化や舗装改良、空港アクセス鉄道の整備等を実施しています。 航空機の運航への影響を最小限にするため、厳しい現場条件の中で整備を進めています。 現在は、空港アクセス鉄道の工事、第1・第2ターミナル地区の再編整備、旧整備場地区の駐機場の整備が行われており、大規模な工事を間近で経験することができます。 	東京空港整備事務所
京浜港湾事務所	〒220-0012	神奈川県横浜市西区みなとみらい6-3-7	045-226-3740	○	○			○	5日間	<p>「島国日本における人流・物流のインフラ整備に関わる仕事を学べます」</p> <p>京浜港湾事務所では我が国に寄港する基幹航路の維持・拡大、国内の円滑な物流を確保するため、横浜港のコンテナターミナルの再編や川崎港の東扇島地区と内陸部を結ぶ臨港道路の整備を進めています。</p> <p>【新たなコンテナターミナルの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸壁や護岸など港湾の核となる構造物の整備やインフラDXを駆使した大型作業船による海上工事について学習することができます。 <p>【既存コンテナターミナルの改良工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上の地盤改良や岸壁の改良について学習することができます。 <p>【中央径間の大きさは東日本第1位の長大斜長橋の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨港道路の主橋梁部やアプローチ部での工事について学習することができます。 採用後の仕事や職場環境について、職員との座談会を予定しています。 	京浜港湾事務所 各課
東京湾口航路事務所	〒238-0005	神奈川県横須賀市新港町13	046-828-8366	○			○	○	3日間	<p>「東京湾の仕事に触れてみませんか」</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京湾口航路事務所では、東京湾内の航路の工事や管理を行っています。 航路調査船で航路のバトロールを行っており、漂流物などの船舶の航行に支障となる異常が無いか日々点検しています。 東京湾内の海面に浮遊するゴミや油などを清掃兼油回収船で日々回収しています。 東京湾内に浮かぶ第二海堡（明治・大正時代に建設された海上要塞）が地震で崩壊し、航路内へ土砂などが流出することを防ぐための護岸整備を実施しています。 船に乗りながら、東京湾の仕事、海の仕事に触れてみませんか。 	東京湾口航路事務所 工務課
横浜港湾空港技術調査事務所	〒221-0053	神奈川県横浜市神奈川区橋本町2-1-4	045-461-3892	○	○				5日間	<ul style="list-style-type: none"> 横浜港湾空港技術調査事務所では、関東地方整備局港湾空港部で管轄する関東エリアにおける港湾・空港及び海岸整備に関する調査・設計・技術開発・環境整備などを進めています。多様化するニーズに対応し、事業を円滑かつ効率的に推進するための港湾空港部門における総合技術センターとしての役割を果たしています。 主な業務としては、港湾・空港・海岸整備に関する各種の調査、設計及び設計業務を支援する水理模型実験、事業を効率的に進めるための多様な技術開発、並びに環境保全と環境整備を図るための調査や技術の開発、東京湾域の水質調査などを行っています。 港湾空港に関する調査（防災、水理模型実験等）、設計（港湾・空港施設の設計等）、環境（東京湾の海域環境等）を幅広く実習することにより、行政における調査等業務の理解を深めることができます。また、当事務所にある港湾施設と海の生物が共存できるよう考えられた人工干潟「潮彩の渚」での調査・試験を学習できます。 	横浜港湾空港技術調査事務所
関東道路メンテナンスセンター	〒330-0843	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-89-1 効活ビル2階	048-600-1417			○	○	○	5日間	<ul style="list-style-type: none"> 関東道路メンテナンスセンターでは、直轄国道における橋梁等の健全性診断等のほか培ったノウハウを活用し、地方公共団体向けの技術相談を行っています。 <p>【身近な橋梁等の点検・診断の仕組みなどを学べる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学や居住地近くの身近な橋梁等をはじめ、インフラ構造物の点検・診断の仕組みやその実態を知っていただくことができます。 ドローン等を活用した点検業務も行っており、ドローンの運転を体験していただくことができます（天候などによってできない場合もあります）。 <p>【GISプラットフォーム等の操作体験ができる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際にGISプラットフォームや各種データベースを操作していただき、ご自身の大学や居住地近くの構造物の点検・補修状況の確認や、異常事象が発生した場合を想定しての模擬訓練を体験することができます。 	関東道路メンテナンスセンター 技術第一課